



茂原市総合計画 後期基本計画

2026 ▶ 2030

未来へつながる「交流拠点都市」もばら





はじめに

本市は千葉県のほぼ中央に位置し、温暖な気候と立地の良さ、天然ガスなどの資源の豊富さで、外房の中核都市として発展してきました。近年では、圏央道の開通により、成田・羽田両国際空港から約1時間で結ばれ、東京都内へも電車や車で1時間あまりと、交通利便性が高まっています。

一方、我が国では、少子高齢化に伴う人口構造の変化、地方の過疎化、都市への人口集中といった課題に加え、近年は自然災害の激甚化や物価高騰など、生活や経済に大きな影響を与える事態も生じており、地方自治体にはこれらの課題に的確かつ迅速に対処することが求められています。

こうした中、本市では、令和3年3月に策定した「茂原市総合計画」において、「誰もが安全安心に暮らせるまちづくり」「明日を担う人を育む未来に向けたまちづくり」「一人ひとりの地域参加で拓く協働のまちづくり」「地域資源を活かしたにぎわいあるまちづくり」という4つの基本方向を示し、2030年度の本市の目指すべき将来都市像を『未来へつながる「交流拠点都市」もばら』と定め、その実現に向けさまざまな施策の展開を図っているところです。

この総合計画は令和7年度をもって「前期基本計画」が終了することから、このたび令和8年度を始期とする「後期基本計画」を策定いたしました。その中で、新たに「地域幸福度(Well-being)」の視点を取り入れ、まちづくりを通じて市民の皆さまの「幸福度」及び「生活満足度」の向上を図ることを目標としており、引き続き災害対策や子育て施策をはじめとして、市民の皆さまがこれからも安心して住み続けたいと思っただけのようなまちづくりに取り組んでまいります。

今後も市民の皆さまや本市に関わりのある企業、団体の皆さまなどと協力し合いながら、計画の実現に向けて鋭意努力してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にご尽力いただきました茂原市総合計画審議会の委員各位、市民アンケート、高校生アンケート、パブリックコメントなどにご協力いただきました多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

令和8年3月

茂原市長

目 次

第1編 序 論 1

第1章 計画策定の背景 2

第1節 計画策定の趣旨 2

第2節 計画の期間と構成 3

第2章 茂原市の現況 4

第1節 市域、地勢 4

第2節 沿革 5

第3節 茂原市の人口 6

第4節 茂原市の就業状況 12

第5節 茂原市の財政状況 15

第6節 時代潮流 16

第2編 基本構想 19

第1章 基本方向 20

第2章 将来都市像 22

第3章 基本政策 24

第3編 後期基本計画 27

第1章 総論 28

第1節 計画の期間 28

第2節 計画策定の視点 28

第3節 まちづくりにおいて注目すべき点 29

第4節 まちづくりの重点課題 30

第5節 地域幸福度(Well-being)指標について 33

第6節 計画の目標 34

第7節 人口 35

第8節 土地利用 36

第9節 財政の見通し 37

第2章 重点プロジェクト(第3期茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略)	38
第1節 概要	38
第2節 地域ビジョン	38
第3節 戦略の方向性	39
第4節 施策の実現に向けて	41
第5節 施策の展開	42
第3章 各論	54
第1節 人が育ち文化と歴史がとけあうまち《教育文化》	62
第2節 誰もが自分らしく健康に暮らせるまち《健康福祉》	79
第3節 未来への活力とにぎわいがあるまち《産業振興》	97
第4節 しなやかで安心して住めるまち《安全安心》	108
第5節 利便性と落ち着きが共存するまち《都市環境》	120
第6節 市民が主役の持続可能なまち《協働推進》	142

